

ロンドンオリンピック、将来的なサステナビリティの発展に向けて: セーリング競技場でのISO 20121の取得事例



効果的な廃棄物処理の管理とエネルギー利用の改善により、オリンピック会場の公益事業コストの15%削減を実現

"ISO 20121 認証取得によって、私達がベストプラクティス・フレームワークを運用し、サステナビリティ(持続可能性)を適用して発展できている事を、効果的にアピールできています。

John Tweed
Chief Executive,
Weymouth and Portland
National Sailing Academy

なぜ認証が必要だったか？

- ロンドンオリンピック委員会(LOCOG)が、2012年のオリンピック競技のために定義した、Sustainable Sourcing Code(持続可能な調達規定)への対応するため
- サステナビリティを持つ競技施設として"ウェイマス&ポートランド・ナショナルセーリングアカデミー(WPNSA)"をプロモーションし、より多くのビジネスチャンスに繋げるため
- 自組織から発生する環境への影響を検証し、環境への配慮が完全に考慮された体制を構築するため
- 持続可能な発展の確立を目指した "One Planet Living" の原則に基づいた体制構築のため

認証取得で得たメリットは？

- より効果的な廃棄物処理の管理促進と、消費電力の最適化による約15%のコスト削減
- ビジネス取引のライセンスを得るため: ロンドンオリンピック委員会(LOCOG)の要求を完全に満たし、2012年のオリンピック会場の調達パートナーとしてふさわしいステータスを示した
- 持続可能なビジネスとして、国際的な評価と認知度を高めた
- 施設の法的違反の可能性を減少させ、会場施設の将来的な発展の基盤を築くことができた

